

2 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	○自分の身の回り（地域）で、気に入っているものや場所がありますか。それはどんなものですか。	<ul style="list-style-type: none"> 郷土への思いを見つめ直し、これからの生き方につなげていくことを意識させる。
展開前段	◇資料提示をし、範読する。 ○良二は移植の様子を写真におさめながら、どんな思いでいたのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> うまく移植できるだろうか、心配だ。 無傷で移植させてほしい。また美しい花が見たい。 この桜の木を見ていると心が安らぐ。ずっと大事にしていきたい。 あんなに慎重に作業をしている。莊川桜は、村人みんなの誇りであり、宝物なんだ。 新しい土地で、美しい花を咲かせ、たくさんの人の心をいやしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 佐藤良二氏の略歴を紹介し、その生き方について考えること確認する。 桜の木は人々の心の拠り所であり、慎重に移植作業をする様子から、この木を守り続けたいと願う気持ちの深さに、良二が心を打たれたことに気付かせる。 国鉄バスの車しょうをしていた良二にとって、いつも目にする桜の姿は、心の支えとなっており、郷土の誇りとして何とか残していきたいと願う気持ちに共感させる。
	○莊川桜の種子を育てながら、良二はどんなことを考えていたでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> なかなか芽が出てくれない。何がよくないのだろう。 もう、あきらめるしかないのだろうか。 何とか芽を出してほしい。がんばってほしい。 村人みんなの思いで移植した桜の木だ。何とか子孫を残して、命をつないでいきたい。 自分の手で、名金線を400年の歴史をもつ桜の木の子孫でいっぱいになりたい。 ◎ふるえる手で「莊川七郎です。今後四百年お世話になります。よろしく願います。」と書いた良二は、桜の苗にどのような思いを込めたのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> 毎年たくさんの花を咲かせ、見る人を幸せな気持ちにさせてほしい。 自分の代わりとなって長生きし、たくさんの人を見守り続けていてもらいたい。 自分にとって心のなぐさめとなってきた桜だから、これからもっと多くの人の心をいやし、支えになってほしい。 これからも、郷土を大切に思う心はずっと一緒に生き続けていきたい。これからもよろしく願います。 400年先にも、自分と同じように郷土を大切に思ってくれる人がいてくれたら安心できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の自然を守り、受け継いでいくことはたやすいことではなく、投げ出したくなる人間の弱さにも気付かせる。 長い年月もの間、くじけずに種子をまき続け、芽が出るのを待てたのは、莊川桜を心の支えとして、そして、郷土の誇りとして思い続ける強い気持ちがあったからであることに気付かせる。 良二にとって莊川桜は、自分自身であり、我が子同然であったことから、これからも生き続け、多くの人の心の支えとなしてほしいと願う気持ちに触れさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【深めの発問】 ★良二はなぜ、400年も先のことまで考えられるのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 死の直前まで、桜の木のことを心配する主人公の生き方を通して、郷土の誇りと郷土の発展への願いを理解させる。
展開後段	○良二の「郷土を愛する心」から、考えたことをまとめてみましょう。 <ul style="list-style-type: none"> 桜の木に郷土を愛する心と郷土の発展への願いを込めて、死ぬ間際まで、桜のことを心配する良二の生き方があったからこそ、今の自然や文化があることが分かった。自分の地域は○○がある。良二のように○○を守っていけるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 主人公の生き方について、考えたことをまとめることを通して、郷土を愛する心をもつとともに、自分の生活の中に、どう生かしていったらよいか、考えさせる。
終末	○地域の自然や文化を守り続けてみえる方をゲストティーチャーとして招き、お話をしていただく。	<変容の見届け> <ul style="list-style-type: none"> 「自分の地域にある○○をこれから大切にしていきたい」など、自分の地域にあるもののよさに気付き、自分の生活を振り返りながら郷土への思いを書いている。

